

祝 百歳！ おめでとうございます



福尾の福留兼子さんが1月10日に満百歳の誕生日を迎えられました。
福留さんは明治42年生まれ。百寿の記念に「百寿よもよもと詩を読まれていました。山口町長から記念の品を受け取られると笑顔でお礼を述べられました。これからもますますお元気で家族のみなさんと毎日を楽しんでお過ごしください。

まちづくりに役立てて

大山そば打ち同好会が収益金の一部を寄付



▲寄付金を町長に手渡し井上会長（右）

大山そば打ち同好会（井上勇辰会長）から「まちづくりに役立ててほしい」と12月25日、20万円の寄付をいただきました。

これはイベントなどで出店した際の売り上げ金の一部で、主なものはひろしまフラワーフェスティバル、くれ食の祭典、大山夏山開き祭、中山わいわいフェスティバル、米子市内のスーパーでの大山フェアなどです。最近では、映画「銀色の雨」のまかない隊として活躍し、ロケ地の美保関で撮影スタッフやキャストに地元産白ねぎのてんぷらをのせた手打ちの温かいそばを提供し、主役の中村獅童さんが大盛り2杯を食べるなど大変好評だったそうです。

会長の井上さんは「今後はそばのレベルを上げていくこと（認証制度）を考えています。兵庫県豊岡市の出石町はそばで活性しているいい例です。今後大山そばをうまく広めながら町おこしの一役を担いたいです」と今後の抱負を話しておられます。

手打ちそばを楽しんで



▲「トントントン」と包丁の音がリズムカルに響くと入所の皆さんから拍手が送られました

農業後継者でつくる名和グリーンカルチャークラブ（山上泰典会長）が12月15日、喜んで食べてもらい長生きしてもらおうと、塩津にあるグループホーム「陽だまりの家なかやま」を訪問し、入所されている皆さんに手打ちのかけそばを振る舞いました。

会長の山上さんは、そばづくりを種まきから打つところまで体験しようと10年前にクラブの中に「そば打ち実行委員会」を立ち上げそばづくりに励んでいます。最近では中山そば打ち同好会と一緒に大山そば打ち同好会としても活躍しています。

この日は、9月に種まきをして12月に製粉したばかりの新そば粉を使用。今年も豊作で、20㍗の地から収穫したそばは製粉して150㍗になりました。

皆さんはそば打ちを見ながら、「小さい頃に家でよく母親が打ってくれたことを思い出します」「食べるのが楽しみ」とワクワクして見ておられました。